

2024  
4月号

No.132

# 営農情報誌

J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課

経済センター 0749-63-2101



**お知らせ** 5月は育苗センターに出向のため、定期訪問をすることはできません。何かあれば携帯に連絡をお願いします。

## 浅水代かきのススメ

かけ流しによる代かき水流失は河川や琵琶湖の汚濁につながりますので、行わないでください。  
また、深水で代かきを行うと稲株や残渣物が埋没しなくなるため、浅水代かきをお勧めします。



### 代かき前に注意点

- ・漏水の大半はあぜ際からです。モグラ穴の点検があれば補修しましょう。
- ・尻水戸周辺を丁寧に踏みしたり、止水板を畔より高くなるように設置する。



### 浅水代かきのポイント

- ・代かき前の入水量は土が7～8割、水が2～3割程度見える状態が目安。
- ・代かき時は尻水戸板を上げ、泥水が流出しないようにする。
- ・代かき時に水が足りないようなら、少しずつ入水しながら作業を行う。
- ・漏水の大半はあぜ際からです。ほ場の外周は丁寧に代かきをしましょう。
- ・水田ハローの耕うん爪は、碎土性が高いので、作業回数は1回で行う。

除草効果拡大！ 環境への負担低減！

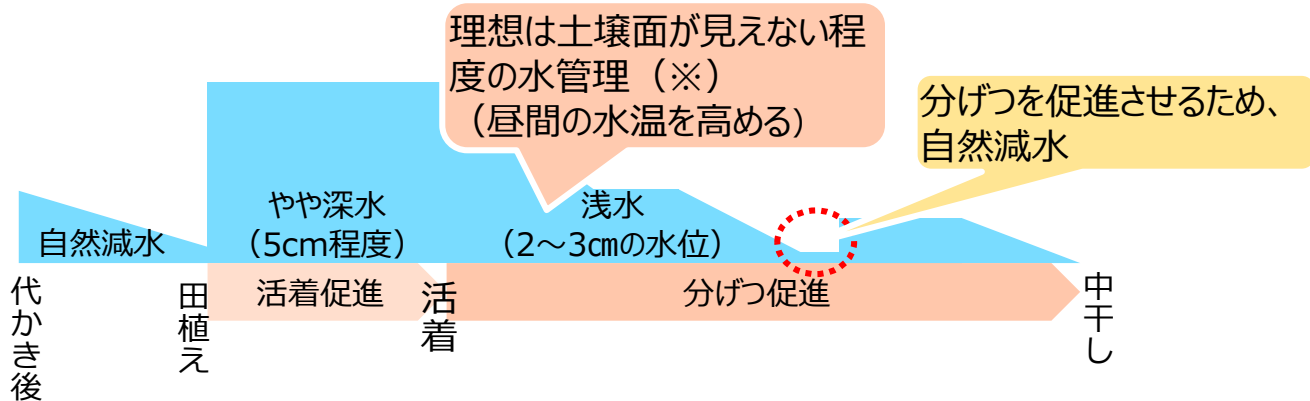
### こんな効果があります

- ・稲わらや草を土中に埋め込みやすい。
- ・田面が確認しやすく均平が取りやすい。
- ・水資源が有効活用に活用できる。
- ・肥料成分や汚濁水の流出が防げる。



# 水稻水管理のポイント【中干し時期まで】

高品質米の生産のためには、田植え後や活着後に対応した最適な水深・水位調整により生育をスムーズに促すことが必要です！



## 除草剤の処理層形成のための水管理

田植え時期に使用する除草剤は土壤表面に処理層をつくり、雑草を抑えます。この処理層が形成・安定するまで約3日間かかります。3日間は湛水を保ち、7日間の止水管理を守りましょう。

ここが処理層です

田面が少し見えるくらいまでは大丈夫！土壤表面が現れたらしっかり入水しよう！

入水時は少しずつ

- ◆7日間の止水管理で除草剤処理層をしっかり作る
- ◆減水してもできるだけガマンし、継ぎ足し入水はしない
- ◆急激な水量・流れは処理層が壊れる

## ゴールデンウィーク中の各資材センター休日対応について

場所	経済センター 長浜市加田町3143 TEL: 63-2101	米原資材センター 米原市下多良171 TEL: 52-1014	伊吹資材センター 米原市杉沢726 TEL: 55-4080
4月	27日(土)・28日(日)・29日(祝) 30日(火) (7日、14日はお休みさせていただきます)		営業時間 8:30～12:00 営業時間 8:30～17:00
5月	1日(水)・2日(木) 3日(祝)・4日(祝)・5日(日)・6日(祝)		営業時間 8:30～17:00 営業時間 8:30～12:00

※配送対応については、当日注文分を翌日配送いたします(燃料含む)

※土日祝祭日の現金取り扱いは不可となります